

【日本語セッション】

会長講演 (S83)

- 6月2日(木) 9:00~9:30 第1会場
 座長 岡 明 (埼玉県立小児医療センター)
 PL1 新たなる創造とその調和
 山内秀雄 (埼玉医科大学医学部小児科学)

福山幸夫先生記念講演 (S84)

- 6月2日(木) 9:30~10:30 第1会場
 座長 山内秀雄 (埼玉医科大学医学部小児科学)
 ML1 一歩, 一歩: 小児神経科医として五十有余年
 黒川 徹 (国立病院機構西別府病院, 特定医療法人社団三光会誠愛りハビリテーション病院)

特別講演 (S85)

- 特別講演1 6月2日(木) 10:50~11:50 第1会場
 座長 作田亮一 (獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)
 SL1 当事者研究 —小児神経学との共同に向けて—
 熊谷晋一郎 (東京大学先端科学技術研究センター)
- 特別講演2 6月2日(木) 10:50~11:50 第2会場
 座長 小柴満美子 (埼玉医科大学小児科, 山口大学工学部, 東北大学)
 SL2 デジタル社会を生きる子どもたち —「子ども学」と脳科学から—
 中村 俊 (東京農工大学)
- 特別講演3 6月4日(土) 16:30~17:30 第1会場
 座長 是松聖悟 (埼玉医科大学総合医療センター小児科)
 SL3 小児科医の知るべき医事訴訟 —主として小児神経領域の医療訴訟について—
 古川俊治 (参議院議員, 慶應義塾大学法科大学院・医学部外科, TMI 総合法律事務所)

教育講演 (S87)

- 教育講演1 6月2日(木) 10:50~11:50 第4会場
 座長 黒澤健司 (神奈川県立こども医療センター)
 EL1 ゲノム解析で見えてきた神経疾患の成り立ち
 三宅紀子 (国立国際医療研究センター研究所疾患ゲノム研究部)
- 教育講演2 6月2日(木) 10:50~11:50 第5会場
 座長 米川貴博 (三重大学大学院医学系研究科小児科)
 EL2 モデル動物解析から見た小児自閉症の病態 —臨床への応用を目指して—
 成田正明 (三重大学大学院医学系研究科発生再生医学)
- 教育講演3 6月3日(金) 10:40~11:40 第2会場
 座長 山内秀雄 (埼玉医科大学医学部小児科学)
 EL3 新型コロナウイルスに対する次世代型鼻スプレーワクチン開発
 野阪哲哉 (三重大学大学院医学系研究科感染症制御医学・分子遺伝学分野)
- 教育講演4 6月3日(金) 10:40~11:40 第3会場
 座長 武内俊樹 (慶應義塾大学小児科)
 EL4 福山型先天性筋ジストロフィーの原因究明と治療開発
 戸田達史 (東京大学大学院医学系研究科神経内科学)

教育講演 5 6月3日(金) 10:40~11:40 第4会場

- 座長 阿部裕一(国立成育医療研究センター神経内科)
EL5 AAVベクターを用いた遺伝性神経疾患に対する遺伝子治療と小児神経疾患の未来
 山形崇倫(自治医科大学小児科学)

教育講演 6 6月3日(金) 10:40~11:40 第5会場

- 座長 友田明美(福井大学子どものこころの発達研究センター)
EL6 神経発達とその異常におけるグルタミン酸の役割
 田中光一(東京医科歯科大学難治疾患研究所分子神経科学)

教育講演 7 6月4日(土) 10:40~11:40 第2会場

- 座長 山下裕史朗(久留米大学医学部小児科学講座)
EL7 自閉スペクトラム症の最新の治療
 桑原 斉(埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科)

教育講演 8 6月4日(土) 10:40~11:40 第3会場

- 座長 酒井規夫(大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻)
EL8 中枢神経症状を伴うライソゾーム病に対する新規遺伝子治療法
 伊藤孝司(徳島大学大学院医歯薬学研究部(薬学域))

教育講演 9 6月4日(土) 10:40~11:40 第4会場

- 座長 三牧正和(帝京大学小児科)
EL9 治療可能な神経代謝病
 小坂 仁(自治医科大学小児科)

教育講演 10 6月4日(土) 10:40~11:40 第5会場

- 座長 横山浩之(福島県立医科大学ふくしま子ども女性医療支援センター)
EL10 マルトリートメントによる行動異常と神経生物学的所見について
 友田明美(福井大学子どものこころの発達研究センター)

教育講演 11 6月4日(土) 10:40~11:40 第6会場

- 座長 村松一洋(自治医科大学小児科)
EL11 論文の書き方, 通し方
 仲野 徹(大阪大学名誉教授)

教育講演 12 6月4日(土) 13:00~14:00 第4会場

- 座長 衛藤 薫(東京女子医科大学小児科)
EL12 動く細胞が脳皮質層構造を作るしくみ
 仲嶋一範(慶應義塾大学医学部解剖学教室)

教育講演 13 6月5日(日) 8:30~9:00 第1会場

- 座長 田沼直之(東京都立府中療育センター小児科)
EL13 小児神経科医が知っておきたい臨床遺伝学 ABC
 黒澤健司(神奈川県立こども医療センター遺伝科)

教育講演 14 6月5日(日) 9:10~9:40 第1会場

- 座長 山内秀雄(埼玉医科大学医学部小児科学)
EL14 フロッピーインファントの鑑別診断
 埜中征哉(国立精神・神経医療研究センター病院小児科)

教育講演 15 6月5日(日) 9:50~10:20 第1会場

- 座長 松重武志(山口大学大学院医学系研究科医学専攻小児科学講座)
EL15 小児集中治療医から見た有熱時けいれん重積発作患者への対応
 櫻井淑男(埼玉医科大学総合医療センター, 小児救命救急センター)

教育講演 16 6月5日(日) 10:30~11:00 第1会場

- 座長 田中 肇(北海道立旭川子ども総合療育センター)
EL16 小児期発症の不随意運動(IVM)の診断と治療 ABC
 林 雅晴(淑徳大学看護栄養学部看護学科)

教育講演 17 6月5日(日) 11:10~11:40 第1会場

座長 石川暢恒 (広島大学病院小児科)

- EL17 小児神経免疫疾患の診断と治療 ABC**
吉良龍太郎 (福岡市立こども病院小児神経科)

教育講演 18 6月5日(日) 11:50~12:20 第1会場

座長 齋藤貴志 (国立精神・神経医療研究センター小児神経科)

- EL18 小児てんかんの画像診断**
佐藤典子 (国立精神・神経医療研究センター病院放射線診療部)

教育講演 19 6月5日(日) 13:30~14:00 第1会場

座長 松本 浩 (防衛医科大学校病院小児科)

- EL19 小児てんかん ABC**
浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター)

教育講演 20 6月5日(日) 14:10~14:40 第1会場

座長 遠山 潤 (西新潟中央病院神経小児科)

- EL20 小児神経代謝疾患 ABC**
大竹 明 (埼玉医科大学ゲノム医療科・小児科)

教育講演 21 6月5日(日) 14:50~15:20 第1会場

座長 森 健治 (徳島大学医学部子どもの保健・看護学分野)

- EL21 神経発達症 ABC 一心と身体の間を診る**
作田亮一 (獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター)

教育講演 22 6月5日(日) 15:30~16:00 第1会場

座長 小林朋子 (東北大学東北メディカル・メガバンク機構)

- EL22 臨床研究のための統計学 ABC**
太田晶子 (埼玉医科大学医学部社会医学)

企画シンポジウム (S108)

企画シンポジウム 1: 発達性てんかん性脳症の分子病態に迫る

6月2日(木) 13:10~15:10 第1会場

座長 森本昌史 (京都府立医科大学看護学科医学講座小児科学)

酒井康成 (九州大学大学院医学研究院成長発達医学)

- S1-1 データ駆動型アプローチによるてんかん性脳症のゲノム解析と分子診断精度向上にむけての取り組み**
高田 篤 (理化学研究所, 脳神経科学研究センター)

- S1-2 STXBP1 脳症の病態解析**

千代延友裕

(京都府立医科大学大学院医学研究科分子診断・治療医学, 京都府立医科大学附属病院遺伝子診療部)

- S1-3 マウスモデルを用いた早期乳児てんかん性脳症 EIEE35 の発症メカニズムの解明**

土本大介 (九州大学生体防御医学研究所脳機能制御学分野)

- S1-4 UFM1 システムによる ER-phagy 制御 —その異常と遺伝性脳症—**

小松雅明 (順天堂大学大学院医学研究科器官・細胞生理)

企画シンポジウム 2: 今診てる医療的ケア児, 重症心身障害児の 20 年後の姿が想像できますか? 小児科医が今から心がけておくこと

6月2日(木) 13:10~15:10 第3会場

座長 石井光子 (千葉リハビリテーションセンター愛育園)

鈴木郁子 (光の家療育センター)

- S2-1 重症心身障害児の呼吸障害, 消化器障害への予後を見据えた対応**

北住映二 (心身障害児総合療育センター)

- S2-2 重症心身障害児施設の小児科医から: 「小児期から気を付ける栄養学的注意点」**

口分田政夫 (びわこ学園医療福祉センター草津)

- S2-3 肢体不自由児施設の整形外科医から 小児期から心がけておくべきこと —重症心身障害児を中心に—**

朝貝芳美 (信濃医療福祉センター)

- S2-4 脳性麻痺児者に対して, 成人期も見据え, 小児神経科医としてできること**

北井征宏 (ボバース記念病院小児神経科)

- S2-5 就労支援センターに電車通学している医療的ケア児だった M 君の軌跡（現在も気管切開，胃瘻中）
鈴木郁子（光の家療育センター）

企画シンポジウム 3：神経発達症の包括的支援・診療アプローチ

6月2日（木）13:10～15:10 第4会場

座長 下野九理子（大阪大学大学院連合小児発達学研究所）

加賀佳美（山梨大学医学部小児科）

- S3-1 神経発達症の包括的支援・診療アプローチ —Introduction—

加賀佳美（山梨大学医学部小児科）

- S3-2 神経発達症と睡眠

平田郁子（大阪大学大学院連合小児発達学研究所）

- S3-3 早期療育の実践 —多久市における取り組み—

篠田朋子（心と発達の相談支援 anotherplanet）

- S3-4 神経発達症児の教育的支援

北 洋輔（一橋大学森有礼高等教育国際流動化機構，ヘルシンキ大学医学部脳認知研究ユニット）

- S3-5 神経発達症児の横断的支援

久保田健夫（聖徳大学児童学部）

企画シンポジウム 4：ニューノーマル時代の心理社会的医療と教育

6月2日（木）13:10～15:10 第5会場

座長 門田行史（自治医科大学小児科学）

作田亮一（獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター）

- S4-1 様々な背景をもつ養育者に対する遠隔心理プログラムの可能性と課題 —養育者支援プロジェクトの成果から—

白石優子（理化学研究所脳神経科学研究センター）

- S4-2 親子相互交流療法（PCIT）とは，そのエビデンス

倉根 超（自治医科大学大学院医学研究科）

- S4-3 行動観察アプリケーションを活用した ASD 児保護者への遠隔ペアレント・トレーニングの効果

松田壮一郎（筑波大学人間系）

- S4-4 トウレット症候群への遠隔心理治療 —リモート&グループ CBIT—

井上 建（獨協医科大学埼玉医療センター子どものこころ診療センター）

- S4-5 思春期の精神疾患に対する遠隔認知行動療法

濱谷沙世（福井大学子どものこころの発達研究センター）

企画シンポジウム 5：こころの発達を支援する IT 療育システム

6月3日（金）8:30～10:30 第3会場

座長 小柴満美子（埼玉医科大学小児科，山口大学工学部，東北大学）

中村 俊（東京農工大学）

- S5-1 子どもの「遊び」を見える化するための AI・データ駆動型アプローチ

張山昌論（東北大学情報科学研究科）

- S5-2 乳幼児教育・保育分野における ICT 活用

大豆生田啓友（玉川大学教育学部）

- S5-3 タブレット+生体認証センサーによる発達障害者への社会環境適応教育ツール開発

伊藤賢治（株式会社イノテック，山口大学大学院創成科学研究科）

- S5-4 高所つなわたりによる運動・精神神経機能療育と VR×リハビリ器具・疑似体験システム

三由 野（ポーター株式会社）

- S5-5 自然×プログラミングでこどもの社会相互作用を導く IT 教育システム

小柴満美子

（埼玉医科大学医学部小児科学，山口大学大学院創成科学研究科，東北大学大学院情報科学研究科）

- S5-6 Autism Google Glass Project

Dennis P. Wall

（Pediatrics (Systems Medicine), Biomedical Data Science & Psychiatry and Behavioral Sciences Stanford University）

企画シンポジウム 6：難治性小児神経疾患の新生児スクリーニング国内新規導入の現状と課題

6月3日（金）8:30～10:30 第4会場

座長 下澤伸行（岐阜大学科学研究基盤センターゲノム研究分野）

中村公俊（熊本大学大学院生命科学研究部小児科学講座）

- S6-1 ライソゾーム病の拡大新生児スクリーニングにおける現状と課題

中村公俊（熊本大学大学院生命科学研究部小児科）

- S6-2 脊髄性筋萎縮症における新生児スクリーニング，現状と課題
齋藤加代子（東京女子医科大学ゲノム診療科）
- S6-3 副腎白質ジストロフィー
下澤伸行
（岐阜大学科学研究基盤センターゲノム研究分野，岐阜大学大学院医学系研究科小児科学，岐阜大学医学部附属病院ゲノム疾患・遺伝子診療センター）
- S6-4 将来的導入が検討される難治性小児神経疾患の課題と可能性
酒井規夫（大阪大学大学院医学系研究科保健学専攻生命育成看護科学講座育成小児科学）
- S6-5 公的支援に向けての政策的な選定基準作成
但馬 剛（国立成育医療研究センター研究所マススクリーニング研究室）

企画シンポジウム 7：末梢神経疾患の臨床診断・治療 update

- 6月3日（金）8:30～10:30 第5会場
座長 石山昭彦（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）
藤井克則（国際医療福祉大学医学部小児科）
- S7-1 末梢神経疾患の総論
石山昭彦（国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科）
- S7-2 小児神経科医が診る炎症性ニューロパチー
熊田聡子（東京都立神経病院神経小児科）
- S7-3 炎症性ニューロパチー update（CIDPを中心として）
木田耕太（東京都立神経病院脳神経内科）
- S7-4 遺伝性ニューロパチーと炎症性ニューロパチーの鑑別診断
東原真奈（東京都健康長寿医療センター脳神経内科・脳卒中科）
- S7-5 GBSとGBS類縁疾患 vs CIDP
藤井克則（国際医療福祉大学医学部）

企画シンポジウム 8：早産と神経発達症

- 6月3日（金）13:00～15:00 第3会場
座長 高橋立子（東北文化学園大学総合発達研究センター附属国見の杜クリニック）
田中順子（埼玉医科大学病院小児科・新生児科）
- S8-1 早産児における神経発達症の臨床像
竹内章人（国立病院機構岡山医療センター新生児科・小児神経内科）
- S8-2 早産児の早期スクリーニングと早期介入
太田英伸
（秋田大学大学院医学系研究科保健学専攻作業療法学講座，秋田大学大学院医学系研究科精神科学講座）
- S8-3 早産児の認知機能と言語発達
今福理博（武蔵野大学教育学部幼児教育学科）
- S8-4 早産児に発症する限局性学習症の視覚情報処理能力
福井美保^{1,2}（大阪医科薬科大学小児科¹，大阪大谷大学教育学部²）

企画シンポジウム 9：筋疾患の新たな治療導入による変化と課題

- 6月3日（金）13:00～15:00 第4会場
座長 石川悠加（国立病院機構北海道医療センター神経筋/成育センター）
松尾雅文（神戸学院大学総合リハビリテーション学部）
- S9-1 デュシェンヌ型筋ジストロフィーの治療薬研究の最新情報
竹島泰弘（兵庫医科大学小児科）
- S9-2 福山型先天性筋ジストロフィーの最近の治療開発の動向
石垣景子（東京女子医科大学医学部小児科）
- S9-3 先天性ミオパチーの診断に関する研究の最新情報
小笠原真志（国立精神・神経医療研究センター，公立昭和病院）
- S9-4 筋疾患の予後の変化を見すえた課題への取り組み
里 龍晴（長崎大学病院小児科）
- S9-5 国際ガイドラインに適合した治療導入の課題
石川悠加（国立病院機構北海道医療センター神経筋/成育センター）

企画シンポジウム 10：てんかんと酸化ストレス

- 6月3日（金）13:00～15:00 第5会場
座長 川上康彦（日本医科大学多摩永山病院小児科）
植田勇人（医療法人恵喜会西都病院精神科/三重大学精神神経科学分野）

- S10-1 活性酸素の化学的性質と生体とのかかわり
中村成夫 (日本医科大学化学教室)
- S10-2 けいれん発作に伴う酸化ストレスとレドックス感受性分子によるてんかん性病態への関与
植田勇人 (三重大学精神神経科学分野, 医療法人恵喜会西都病院)
- S10-3 海馬硬化におけるグリア細胞と酸化ストレスの関与
小山隆太 (東京大学大学院薬学系研究科)
- S10-4 一臨床医のてんかんと酸化ストレスの研究履歴 (1) —ヒト髄液からマウス脳組織そして治療基礎実験まで—
川上康彦 (日本医科大学多摩永山病院小児科)
- S10-5 一臨床医のてんかんと酸化ストレスの研究履歴 (2) —抗てんかん薬内服の副作用としての酸化ストレス—
東川幸嗣 (あずまがわ小児科クリニック)

企画シンポジウム 11: 神経発達症の診断の見直しと併存症を考える

6月4日(土) 8:30~10:30 第3会場

- 座長 稲垣真澄 (鳥取県立鳥取療育園)
古荘純一 (青山学院大学教育人間科学部)
- S11-1 併存する発達性協調運動障害 (DCD) への気づきと診断
宮地泰士 (名古屋市西部地域療育センター)
- S11-2 ADHD/ASD の併存について
林 隆 (医療法人テレサ会西川医院発達診療部)
- S11-3 発達障害とトラウマの併存
古荘純一 (青山学院大学教育人間科学部)
- S11-4 精神疾患 (不安症など) の併存
岡 琢哉 (社会医療法人聖十字病院, 株式会社カケミチプロジェクト)

企画シンポジウム 12: 頭痛の診療ガイドライン 2021 —小児関連領域について—

6月4日(土) 8:30~10:30 第4会場

- 座長 安藤直樹 (城西こどもクリニック)
山中 岳 (東京医科大学小児科)
- S12-1 頭痛の診療ガイドライン 2021 概要と小児・思春期の頭痛
安藤直樹 (城西こどもクリニック)
- S12-2 小児・思春期の片頭痛の薬物療法・非薬物療法
山中 岳 (東京医科大学小児科)
- S12-3 片頭痛に関連する周期性症候群
疋田敏之 (ひきた小児科クリニック, 帝京大学医学部小児科)
- S12-4 不登校・不規則登校につながる慢性連日性頭痛
藤田光江 (筑波学園病院小児科, 東京クリニック小児思春期頭痛外来)
- S12-5 小児脳脊髄液減少症の診断と治療
光藤 尚 (埼玉医科大学脳神経内科)
- S12-6 起立性低血圧や POTS による頭痛
呉 宗憲 (東京医科大学小児科・思春期科)

企画シンポジウム 13: 小児神経疾患と遺伝カウンセリング

6月4日(土) 8:30~10:30 第5会場

- 座長 瀬戸俊之 (大阪市立大学大学院医学研究科臨床遺伝学)
武内俊樹 (慶應義塾大学医学部小児科)
- S13-1 小児神経疾患における遺伝カウンセリングの経験
馬場遥香 (大阪市立大学大学院医学研究科臨床遺伝学)
- S13-2 重症心身障害児 (者) の遺伝カウンセリング
竹内千仙 (東京都立北療育医療センター脳神経内科)
- S13-3 治療方法のある神経代謝難病のための遺伝カウンセリング: 今後の展望
村松一洋 (自治医科大学小児科)
- S13-4 マイクロアレイ染色体検査の保険収載と結果の解釈
小崎健次郎 (慶應義塾大学医学部臨床遺伝学センター)
- S13-5 医療機関における, 古くて新しい小児神経疾患の遺伝カウンセリング
福與なおみ (東北医科薬科大学)

企画シンポジウム 14：小児急性脳症 up-to-date

6月4日(土) 13:00~15:00 第1会場

座長 高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

永瀬裕朗(神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科学分野こども急性疾患学部門)

S14-1 病原体による急性脳症の経年的変化と表現型

奥村彰久(愛知医科大学医学部小児科)

S14-2 小児急性脳症の治療法の変遷に関するアンケート調査

室伏佑香(東京女子医科大学八千代医療センター小児科, 小児急性脳症研究班)

S14-3 小児急性脳症診療ガイドライン 2022 作成経過

高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

S14-4 難治頻回部分発作重積型急性脳炎の最新情報

佐久間 啓(東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野)

S14-5 急性脳症 FACE レジストリ

永瀬裕朗(神戸大学大学院医学研究科内科系講座小児科こども急性疾患学)

企画シンポジウム 15：ATP1A3 変異の多面性と病態 —AHC, CAPOS, RDP, DEE, PMG, etc.—

6月4日(土) 13:00~15:00 第3会場

座長 佐々木征行(国立精神・神経医療研究センター病院)

加藤光広(昭和大学医学部小児科学講座/昭和大学病院てんかん診療センター)

S15-1 Na ポンプ $\alpha 3$ サブユニット遺伝子関連神経疾患の病態基盤 —病態モデル動物を使った解析から—

池田啓子(東京工業大学科学技術創成研究院生体恒常性研究ユニット, 昭和大学歯学部口腔生理学)

S15-2 小児交互性片麻痺と CAPOS 症候群

佐々木征行(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

S15-3 DYT12 とジストニアの鑑別

梶 龍児(国立病院機構宇多野病院)

S15-4 ATP1A3 の多面性による機能異常と構造異常：発達性てんかん性脳症と多小脳回

加藤光広(昭和大学医学部小児科, 昭和大学病院てんかん診療センター)

企画シンポジウム 16：てんかんの包括治療の考え方 —薬剤抵抗性の判断と非抗てんかん薬治療の選び方—

6月4日(土) 13:00~15:00 第6会場

座長 岡西 徹(鳥取大学医学部脳神経小児科学分野)

藤本礼尚(聖隷浜松病院てんかんセンター)

S16-1 小児の薬剤抵抗性てんかんに対する治療戦略

本田涼子(国立病院機構長崎医療センター小児科)

S16-2 てんかん外科手術の実際、治療成績、手術リスク

宇田武弘(大阪市立大学大学院医学研究科脳神経外科, 大阪市立総合医療センター小児脳神経外科)

S16-3 抗てんかん薬以外の内科的治療

馬場信平(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

S16-4 てんかんの食事療法：優先すべき症例とその効果

今井克美(NHO 静岡てんかん・神経医療センター)

共催シンポジウム (S144)

共催シンポジウム 1：小児期 ADHD の心理社会的治療 (共催：塩野義製薬株式会社メディカルアフェアーズ部/
武田薬品工業株式会社ジャパンメディカルオフィス)

6月3日(金) 8:30~10:00 第2会場

座長 山下裕史朗(久留米大学医学部小児科学講座)

岡田 俊

(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部)

SS1-1 注意欠如・多動症 (ADHD) の心理教育と親ガイダンス

岡田 俊

(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部)

SS1-2 子どもの行動上の問題を改善するための養育者支援 —PCIT (Parent-Child Interaction Therapy)

小平雅基(総合母子保健センター愛育クリニック小児精神保健科)

SS1-3 ADHD 児の親へのペアレントトレーニング —研究から実装まで

石井礼花

(国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所知的・発達障害研究部)

SS1-4 サマートリートメントプログラムの実践

山下裕史朗(久留米大学医学部小児科学講座)

共催シンポジウム 2: 睡眠・神経発達症・てんかんの関連性 —包括的ケアに向けて—

(共催: ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディカルホールディングス)

6月3日(金) 13:00~14:30 第2会場

座長 加賀佳美(山梨大学医学部小児科)

SS2-1 小児てんかんに併存する発達障害と睡眠障害への対応

中川栄二(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

SS2-2 Significance and Outcomes of Behavioral-educational sleep interventions for Families with Epileptic children

Wang-Tso Lee (Department of Pediatric Neurology, National Taiwan University Children's Hospital)

共催シンポジウム 3: 脊髄性筋萎縮症(SMA)アップデート(共催: バイオジェン・ジャパン株式会社)

6月4日(土) 8:30~10:00 第2会場

座長 齋藤加代子(東京女子医科大学ゲノム診療科)

SS3-1 脊髄性筋萎縮症(SMA)の診断と疾患修飾治療の現状

齋藤加代子(東京女子医科大学ゲノム診療科)

SS3-2 SMAにおける発症前診断と早期治療の重要性

萩野谷和裕(宮城県立こども病院神経科)

SS3-3 Treatment Option Considerations for SMA

Julie Parsons (Department of Pediatrics-Neurology, University of Colorado)

合同シンポジウム(S149)

合同シンポジウム 1: 日本小児神経学会・日本小児免疫性脳炎研究会合同企画: 自己免疫性脳炎における抗体の病的意義

6月2日(木) 13:10~15:10 第2会場

座長 高橋幸利(静岡てんかん・神経医療センター)

高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

JS1-1 抗体の病的意義の解明: 総論・抗NMDA受容体抗体

高橋幸利(静岡てんかん・神経医療センター)

JS1-2 自己免疫性GFAPアストロサイトパチーの神経画像

高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)

JS1-3 GFAP autoimmunity: 自己免疫性GFAPアストロサイトパチー

木村暁夫(岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科)

JS1-4 睡眠覚醒障害(ナルコレプシー)と自己抗体・自己免疫性疾患

神林 崇(筑波大学国際統合睡眠医科学研究機構, 茨城県立こころの医療センター)

合同シンポジウム 2: 日本小児神経学会・子どもの眠り研究会合同企画: 睡眠障害とその関連疾患や要因を知る

6月2日(木) ~~15:30~17:30~~ 第2会場 **9:50~11:50 第3会場**

座長 木村重美

(兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター, 神戸大学大学院医学研究科・医学部地域社会医学・健康科学講座医療システム学分野医療法・倫理学部門)

福水道郎

(瀬川記念小児神経学クリニック, 国立精神・神経医療研究センター病院睡眠障害センター・小児神経科, 都立府中療育センター小児科)

JS2-1 神経発達症と睡眠障害

弓削康太郎(久留米大学小児科)

JS2-2 中枢性過眠と睡眠障害

内田智子(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

JS2-3 重症心身障害児者と睡眠障害

福水道郎

(瀬川記念小児神経学クリニック, 国立精神・神経医療研究センター病院睡眠障害センター・小児神経科, 都立府中療育センター小児科)

JS2-4 体内時計(環境)の乱れと睡眠障害

木村重美

(兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター, 神戸大学大学院医学研究科・医学部地域社会医学・健康科学講座医療システム学分野医療法・倫理学部門)

JS2-5 小児科医と睡眠医療

神山 潤(東京ベイ浦安市川医療センター)

学会委員会主催セミナー (S153)

学会委員会主催セミナー (1) 小児てんかん重積状態・けいれん重積状態治療ガイドライン改訂ワーキンググループ：
小児けいれん重積治療ガイドライン 2017 の改訂の要点

6月2日(木) 15:30~17:30 第1会場

座長 菊池健二郎(埼玉県立小児医療センター神経科)
秋山倫之(岡山大学病院小児神経科)CS1-1 小児けいれん重積治療ガイドライン 2017 の改訂作業にあたって
菊池健二郎(埼玉県立小児医療センター神経科)CS1-2 第1選択薬(ベンゾジアゼピン系薬剤)を考える
西山将広(神戸大学大学院医学研究科小児科, 兵庫県立こども病院神経内科)CS1-3 静脈ルートが確保できない場合の治療について
九鬼一郎(大阪市立総合医療センター小児脳神経内科)CS1-4 第2選択薬を考えるーレベチラセタムの可能性は?ー
松浦隆樹(埼玉県立小児医療センター神経科)CS1-5 非けいれん性てんかん重積状態(NCSE)の考え方
永瀬裕朗(神戸大学大学院医学研究科小児科こども急性疾患学)

学会委員会主催セミナー (2) 薬事小委員会：教育現場におけるてんかん啓発活動と薬剤投与の問題点

6月2日(木) 15:30~17:30 第3会場

座長 中川栄二(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
石垣景子(東京女子医科大学医学部小児科)CS2-1 教育現場で使用するてんかん発作時坐薬挿入の現状
中川栄二(国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)CS2-2 波の会の教育現場への要望活動
中村千穂(公益社団法人日本てんかん協会(波の会))CS2-3 ドラベ症候群患者家族会の調査と提言
黒岩ルビー(ドラベ症候群患者家族会)CS2-4 てんかん地域診療連携体制整備事業と調査研究事業
田中裕記(厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部精神・障害保健課)CS2-5 てんかんのある子どもの学校における配慮
丹羽 登(関西学院大学教育学部)

学会委員会主催セミナー (3) 小慢・難病委員会：脊髄性筋萎縮症の新生児マススクリーニングー現状と課題ー

6月2日(木) 15:30~17:30 第4会場

座長 佐久間 啓(東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野)
阿部裕一(国立成育医療研究センター神経内科)CS3-1 脊髄性筋萎縮症の新生児マススクリーニング
佐久間 啓(東京都医学総合研究所脳・神経科学研究分野)CS3-2 脊髄性筋萎縮症に対する新たな治療法
小牧宏文(国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)CS3-3 大阪でのマススクリーニング体制確立の経験
木水友一(大阪母子医療センター小児神経科)CS3-4 新生児マススクリーニングの今後：よりよいものとするために
但馬 剛(国立成育医療研究センター研究所マススクリーニング研究室)CS3-5 脊髄性筋萎縮症の新生児マススクリーニングにおける倫理的課題
掛江直子(国立成育医療研究センター)

学会委員会主催セミナー (4) 災害対策委員会：東日本大震災 10 年後，熊本地震 5 年後

6月2日(木) 15:30~17:30 第5会場

座長 木村重美
(兵庫県立リハビリテーション中央病院子どものリハビリテーション・睡眠・発達医療センター)CS4-1 東日本大震災より学び引き継ぐべきこと
田中総一郎(あおぞら診療所ほっこり仙台)CS4-2 東日本大震災から学んだことー石巻支援学校からのメッセージー
田中総一郎(あおぞら診療所ほっこり仙台)CS4-2 東日本大震災から学んだことー石巻支援学校からのメッセージー
櫻田 博(宮城県教育委員会, 公認心理師・学校心理士(元石巻支援学校長))

- CS4-3 災害時小児周産期リエゾンの支援体制 一大規模災害で学び、今後活かすー
 岬 美穂 (国立病院機構本部 DMAT 事務局)
- CS4-4 人工呼吸器取り扱い業者の災害時支援体制
 遠藤雄策 (浜松市発達医療総合福祉センター友愛のさと診療所小児科)
- CS4-5 熊本地震からの創造的復興 —ONE PIECE 熊本復興プロジェクトー
 久原美樹子 (熊本県観光戦略部観光交流政策課)

学会委員会主催セミナー (5) 医療安全委員会①：医療安全セミナー —神経分野の医療安全は、新しいステージへ—
 6月3日(金) 15:20~17:20 第2会場

- 座長 伊藤 進 (東京女子医科大学小児科)
 宮田理英 (東京北医療センター)
- CS5-1 小児頭部外傷時の CT 撮影に関する医師の意識調査
 下川尚子
 (日本小児神経学会医療安全委員会頭部外傷における CT 撮像基準の提言作成ワーキンググループ, 久留米大学医学部脳神経外科)
- CS5-2 気管カニューレ管理の医療安全
 守本倫子 (国立成育医療研究センター耳鼻咽喉科)
- CS5-3 一般病院における虐待・暴言・暴力・自殺企図対応, 医療倫理
 是松聖悟 (埼玉医科大学総合医療センター小児科)
- CS5-4 児童虐待に対し医療のなすべき対応とは
 溝口史剛 (前橋赤十字病院小児科)
- CS5-5 児童虐待の法的対応
 山下敏雅 (永野・山下・平本法律事務所)

学会委員会主催セミナー (6) 国際化推進委員会：障がい児医療における国際化推進への取り組み
 6月3日(金) 15:20~17:20 第4会場

- 座長 石原尚子 (藤田医科大学医学部小児科学)
 荒井 洋 (ボバース記念病院小児神経科)
- CS6-1 世界に学ぶ脳性麻痺医療
 荒井 洋 (ボバース記念病院小児神経科)
- CS6-2 重症心身障害児(者)医療の国際化
 曾根 翠 (東京都立東大和療育センター)
- CS6-3 神経発達症の診療と国際交流
 中西真理子
 (大阪大学大学院連合小児発達学研究所, 大阪大学医学部小児科, なかにしキッズクリニック)

学会委員会主催セミナー (7) 社会活動・広報委員会①：小児神経疾患の緩和ケアについて考える —小児神経科医としてできることは—
 6月3日(金) 15:20~17:20 第5会場

- 座長 高橋長久 (心身障害児総合医療療育センター)
 余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)
- CS7-1 日本小児神経学会社会活動・広報委員会として取り扱う緩和ケア
 宮本雄策 (聖マリアンナ医科大学小児科)
- CS7-2 重症心身障害児者施設における緩和ケアの実践と課題
 高橋長久 (心身障害児総合医療療育センター)
- CS7-3 在宅小児神経疾患患者に対する緩和ケアの実践と課題
 田中総一郎 (あおぞら診療所ほっこり仙台)
- CS7-4 小児神経疾患に対する緩和ケアの実践
 余谷暢之 (国立成育医療研究センター総合診療部緩和ケア科)

学会委員会主催セミナー (8) 医療安全委員会②：学校での特定行為以外の医療的ケア
 6月4日(土) 13:00~15:00 第5会場

- 座長 奈倉道明 (埼玉医科大学総合医療センター小児科)
 三浦清邦 (愛知県医療療育総合センター中央病院)
- CS8-1 学校における医療的ケアの歴史, 看護師による実施行為について
 三浦清邦 (愛知県医療療育総合センター中央病院)
- CS8-2 医療的ケア児支援法及び特定行為以外の医療的ケアに関する全国調査の報告
 奈倉道明 (埼玉医科大学総合医療センター)
- CS8-3 医療的ケア指導医の役割 —三重県での活動を中心に—
 岩本彰太郎 (三重大学医学部附属病院小児・AYA がんトータルケアセンター)

- CS8-4 学校で働く看護師の役割の充実に向けて 一子どもの学びを支える看護の専門性—
植田陽子 (医療法人財団はるたか会 NurseFight プロジェクト)
- CS8-5 大阪府立支援学校における医療的ケアの取組
木下美香子 (大阪府教育庁教育振興室支援教育課)
- CS8-6 教育としての医療的ケア
深澤祐子 (千葉県教育庁教育振興部特別支援教育課)

学会委員会主催セミナー (9) 社会活動・広報委員会②：神経発達症児の移行期医療支援について

6月4日 (土) 15:20~17:20 第3会場

- 座長 宮本雄策 (聖マリアンナ医科大学小児科)
宮地泰士 (名古屋市西部地域療育センター)
- CS9-1 円滑な移行のために小児科医が知っておくべきこと・やっておくべきこと
宮地泰士 (名古屋市西部地域療育センター)
- CS9-2 富山県での神経発達症児の診療と移行の課題
宮 一志 (富山大学人間発達科学部)
- CS9-3 神経発達症児の移行期医療支援について 一児童精神科医の立場から—
渡部京太 (広島市こども療育センター)
- CS9-4 障害者総合医療療育施設における小児-成人移行医療 一脳神経内科医の立場から—
望月葉子 (東京都立北療育医療センター内科・脳神経内科)

学会委員会主催セミナー (10) 共同研究支援委員会：病態・機能解明 一臨床医学と基礎研究の連携—

6月4日 (土) 15:20~16:50 第4会場

- 座長 森本昌史 (京都府立医科大学看護学科医学講座小児科学)
福田冬季子 (浜松医科大学浜松成育医療学講座)
- CS10-1 網羅的遺伝子解析による病的意義不明例の検出と病態・機能解析
才津浩智 (浜松医科大学医学部医学科医化学講座)
- CS10-2 小型モデル動物を用いた遺伝子変異機能解析
菊池敦生 (東北大学病院小児科)
- CS10-3 遺伝子変異の効果を簡便にスクリーニングする *in vivo* システム
杉江 淳 (新潟大学脳研究所脳病態解析分野 (杉江研究室))

学会委員会主催セミナー (11) 社会保険小委員会：小児神経科医が知っておきたい診療報酬制度の現状と問題点

6月4日 (土) 15:20~17:20 第5会場

- 座長 星野恭子 (昌仁醫修会瀬川記念小児神経学クリニック)
石山昭彦 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)
- CS11-1 小児神経診療における診療報酬の理解と現状
米山 明 (全国療育相談センター)
- CS11-2 社会保険小委員会が取り組むべき課題と提言
田沼直之 (東京都立府中療育センター)
- CS11-3 新規遺伝子治療薬に関わるカルタヘナ法加算について
中川栄二 (国立精神・神経医療研究センター病院小児神経科)

実践教育セミナー (S177)

実践教育セミナー 1：全ての小児神経科医が知っておきたい外来脳波の読み方

6月5日 (日) 8:00~10:00 第3会場

- 座長 白石秀明 (北海道大学病院小児科・てんかんセンター)
伊藤 進 (東京女子医科大学小児科)
- JES1-1 脳波の基本と判読の方法
岡西 徹 (鳥取大学医学部脳神経小児科学分野)
- JES1-2 焦点てんかんの脳波
白石秀明 (北海道大学病院小児科・てんかんセンター)
- JES1-3 全般てんかんの脳波
伊藤 進 (東京女子医科大学小児科)
- JES1-4 てんかん性脳症の脳波
本田涼子 (国立病院機構長崎医療センター小児科)

実践教育セミナー 2：誤診から学ぶ (3)

6月5日(日) 8:00~10:00 第4会場

座長 久保田雅也(島田療育センター)
杉田克生(千葉市療育センター)

JES2-1 機能性(心因性)神経疾患と誤診
久保田雅也(島田療育センター)

JES2-2 近代医学と誤診
杉田克生(千葉市療育センター小児神経科)

JES2-3 小児神経領域における誤診
柏井洋文(東京都立神経病院神経小児科)

JES2-4 小児心身医学における誤診
永井 章(国立成育医療研究センター総合診療科)

実践教育セミナー 3：こどもの頭痛 —4名の師範と実戦稽古—

6月5日(日) 8:00~10:00 第5会場

座長 西村 陽(京都第一赤十字病院新生児科)
下村英毅(兵庫医科大学小児科学)

JES3-1 成人診療科から見た小児思春期の頭痛
石井亮太郎(京都岡本記念病院)

JES3-2 慢性頭痛の漢方治療
尾崎裕彦(さりんカムクリニック)

JES3-3 小児期の三叉神経・自律神経性頭痛(TACs) —片頭痛よりも短くて激しい頭痛—
斎藤義朗(済生会横浜市東部病院重症心身障害児施設サルビア)

JES3-4 起立性調節障害と頭痛をどう考える
呉 宗憲(東京医科大学小児科・思春期科)

実践教育セミナー 4：初めて小児神経学を学ぶ人のための実践教育セミナー

6月5日(日) 10:20~12:20 第3会場

座長 藤井克則(国際医療福祉大学医学部小児科)
山中 岳(東京医科大学)

JES4-1 脳波の読み方 ABC
前垣義弘(鳥取大学医学部脳神経小児科)

JES4-2 小児の頭痛への対処法
山中 岳(東京医科大学小児科)

JES4-3 発達障害で知っておきたいこと
内田智子(千葉大学大学院医学研究院小児病態学)

実践教育セミナー 5：小児科医のための神経放射線 2022

6月5日(日) 10:20~12:20 第4会場

座長 高梨潤一(東京女子医科大学八千代医療センター小児科)
大場 洋(帝京大学放射線科)

JES5-1 病変が見えない時何を考えますか?
森 壱(自治医科大学医学部放射線医学講座)

JES5-2 小児脳腫瘍：WHO2021を含めて
増本智彦(虎の門病院放射線診断科)

JES5-3 交連線維から覗く中枢神経疾患
森本笑子(大阪市立大学大学院医学研究科放射線診断学・IVR学)

JES5-4 頭頸部の画像診断：解剖と疾患
豊田圭子(東京慈恵会医科大学附属第三病院放射線部)

実践教育セミナー 6：エキスパートと話す小児神経科医にとっての医学研究 —小児神経科医の目指す、医療と医学研究の将来—

6月5日(日) 10:20~12:20 第5会場

座長 村松一洋(自治医科大学)
栗屋智就(京都大学)

てんかん研究(細胞モデル研究・遺伝子)
日暮憲道(東京慈恵会医科大学)

脳画像研究のすゝめ
塩浜 直(千葉大学医学部附属病院小児科)

遺伝子治療の魅力
小島華林(自治医科大学小児科学)

新生児 & 発達 (生理機能・睡眠)

水野賀史 (福井大学子どものこころの発達研究センター)

臨床研究

岡西 徹 (鳥取大学医学部脳神経小児科学分野)

その他の研究

粟屋智就 (京都大学)

実践教育セミナー 7: 第 9 回遺伝学実践教育セミナー

6 月 5 日 (日) 13:40~15:40 第 5 会場

- 講師 齋藤伸治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)
 山本俊至 (東京女子医科大学大学院医学研究科先端生命医科学系専攻遺伝子医学分野)
 小坂 仁 (自治医科大学小児科学講座)
 酒井康成 (九州大学小児科)
 和田敬仁 (京都大学大学院医学研究科ゲノム医療学講座)
 高野亨子 (信州大学医学部遺伝医学)
- サブ講師 (チューター)
 吉田健司 (京都大学大学院医学研究科)
 岡崎哲也 (鳥取大学医学部附属病院)
 チョンビンフィー (九州大学大学院医学研究院成長発達医学小児科学)
 松本 歩 (自治医科大学人類遺伝研究部)
 東 慶輝 (愛知医科大学小児科)
 中村勇治 (名古屋市立大学大学院医学研究科新生児・小児医学分野)

ランチョンセミナー (S188)

ランチョンセミナー 1 (共催: サノフィ株式会社)

6 月 2 日 (木) 12:00~12:50 第 4 会場

- 座長 森脇浩一 (埼玉医科大学総合医療センター小児科)
 LS1 笑顔の子どもを育む地域を創るための地域小児医療支援
 是松聖悟 (埼玉医科大学総合医療センター小児科)

ランチョンセミナー 2 (共催: 株式会社コスミックコーポレーション)

6 月 2 日 (木) 12:00~12:50 第 5 会場

- 座長 福興なおみ (東北医科薬科大学)
 LS2 抗 myelin oligodendrocyte glycoprotein (MOG) 抗体関連疾患の臨床
 佐久間 啓 (東京都医学総合研究所)

ランチョンセミナー 3 (共催: ノーベルファーマ株式会社/株式会社メディパルホールディングス)

6 月 3 日 (金) 11:50~12:40 第 1 会場

- 座長 山下裕史朗 (久留米大学医学部小児科学講座)
 LS3 睡眠と神経発達症
 岡 靖哲 (愛媛大学医学部附属病院睡眠医療センター)

ランチョンセミナー 4 (共催: 武田薬品工業株式会社)

6 月 3 日 (金) 11:50~12:40 第 2 会場

- 最新のガイドライン UPDATE
 症例紹介: 最近経験した思春期で診断されたゴーシェ病症例について
 座長 高橋幸利 (静岡てんかん・神経医療センター)
 LS4-1 ゴーシェ病診療ガイドライン 2021 に関して
 成田 綾 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)
 LS4-2 小児けいれん重積治療ガイドライン 2017 改訂におけるミダゾラム口腔用液の位置付けは?
 菊池健二郎 (埼玉県立小児医療センター神経科)

ランチョンセミナー 5 (共催: 大塚製薬株式会社)

6 月 3 日 (金) 11:50~12:40 第 5 会場

- 座長 奥村彰久 (愛知医科大学小児科)
 LS5 日常臨床に潜むカルニチン欠乏症
 大竹 明 (埼玉医科大学小児科・ゲノム医療科・難病センター)

ランチョンセミナー 6 (共催：ノバルティス ファーマ株式会社)

6月3日(金) 11:50~12:40 第6会場

座長 岡西 徹 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)

- LS6 結節性硬化症に伴うてんかんに対する治療戦略 —症例から学ぶ—
 演者 池田ちづる (国立病院機構熊本再春医療センター小児科)

ランチョンセミナー 7 (共催：塩野義製薬株式会社)

6月3日(金) 11:50~12:40 第7会場

座長 友田明美 (福井大学)

- LS7 教育との連携を踏まえた包括的な ADHD 診療
 宇野正章 (パームこどもクリニック)

ランチョンセミナー 8 (共催：JCR ファーマ株式会社)

6月3日(金) 11:50~12:40 第8会場

ムコ多糖症Ⅱ型と血液脳関門通過型酵素製剤

座長 沼倉周彦 (埼玉医科大学)

- LS8-1 ムコ多糖症Ⅱ型 (MPSⅡ) の診療と今後の課題
 村山 圭 (千葉県こども病院代謝科)
 LS8-2 ムコ多糖症Ⅱ型に対するパビナフスプアルファ投与の治療経験
 樋口真司 (大阪市立総合医療センター小児代謝・内分泌内科)

ランチョンセミナー 9 (共催：バイオジェン・ジャパン株式会社)

6月4日(土) 11:50~12:40 第1会場

脊髄性筋萎縮症 (SMA) の早期診断の重要性とヌシネルセンの有用性について

座長 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)

- LS9-1 脊髄性筋萎縮症 (SMA) の早期診断・早期治療の重要性について
 小牧宏文 (国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)
 LS9-2 新生児期からのヌシネルセン投与は脊髄性筋萎縮症の発症を阻止し得るか?
 颯佐かおり (埼玉医科大学病院小児科てんかんセンター)
 LS9-3 Reflections on SMA treatments in the US
 Julie Parsons (Department of Pediatrics-Neurology, University of Colorado)

ランチョンセミナー 10 (共催：エーザイ株式会社)

6月4日(土) 11:50~12:40 第2会場

小児てんかんに密接に関わる“睡眠”を考慮した治療戦略

座長 遠山 潤 (国立病院機構西新潟中央病院)

- LS10-1 当科てんかん患者における睡眠障害の実態調査
 弓削康太郎 (久留米大学医学部小児科学教室)
 LS10-2 小児てんかん治療のアウトカム最大化へ 発作と睡眠を考慮した治療 —PER を中心に—
 岡崎 伸 (大阪市立総合医療センター小児脳神経内科)

ランチョンセミナー 11 (共催：株式会社フィリップス・ジャパン)

6月4日(土) 11:50~12:40 第3会場

座長 阪井裕一 (埼玉医科大学総合医療センター小児科学教室)

- LS11 子どもの鎮静の基本的な考え方とコツ
 久我修二 (医療法人藤本育成会大分こども病院小児科)

ランチョンセミナー 12 (共催：日本新薬株式会社)

6月4日(土) 11:50~12:40 第4会場

座長 浜野晋一郎 (埼玉県立小児医療センター)

- LS12 ビルトラルセン治療における工夫 —投与から地域連携まで—
 松村 剛 (国立病院機構大阪刀根山医療センター脳神経内科)

ランチョンセミナー 13 (共催：サノフィ株式会社)

6月4日(土) 11:50~12:40 第5会場

小児科医が見逃してはならない治療薬のある希少疾患

座長 大石公彦 (東京慈恵会医科大学小児科学講座)

- LS13-1 酸性スフィンゴミエリナーゼ欠損症 —ニーマン・ピック病 A 型・B 型の治療アップデート—
 成田 綾 (鳥取大学医学部附属病院脳神経小児科)
 LS13-2 治療可能な神経筋疾患の臨床診断ポイントと治療開発 —Pompe 病—
 石垣景子 (東京女子医科大学医学部小児科)

ランチョンセミナー 14 (共催：ノバルティス ファーマ株式会社)

6月4日(土) 11:50~12:40 第6会場

脊髄性筋萎縮症(SMA)の遺伝子治療

座長 山形崇倫(自治医科大学小児科学講座)

LS14-1 AAVベクターによる遺伝子治療 update

村松慎一(自治医科大学神経遺伝子治療, 東京大学医科学研究所遺伝子細胞治療センター)

LS14-2 実臨床における脊髄性筋萎縮症(SMA)の遺伝子治療

小俣 卓(千葉県こども病院神経内科)

ランチョンセミナー 15 (共催：クリニジェン株式会社)

6月4日(土) 11:50~12:40 第7会場

ムコ多糖症Ⅱ型に対する脳室内投与

座長 奥山 虎之(埼玉医科大学ゲノム医療科)

LS15-1 ムコ多糖症Ⅱ型の中樞神経症状に対する治療法の開発

奥山 虎之(埼玉医科大学ゲノム医療科)

LS15-2 ムコ多糖症Ⅱ型 脳室内治療薬の治療経験

福田冬季子(浜松医科大学医学部医学科育成医療学)

ランチョンセミナー 16 (共催：ヤンセンファーマ株式会社)

6月4日(土) 11:50~12:40 第8会場

座長 平谷美智夫(平谷こども発達クリニック)

LS16 小児科医が神経発達症診療をするということ —ADHDを中心に—

荒木章子(札幌市子ども発達支援総合センター)

ランチョンセミナー 17 (共催：第一三共株式会社/ユーシービージャパン株式会社)

6月5日(日) 12:30~13:20 第1会場

小児てんかん診療の今 —診断・治療・連携—

座長 高橋孝雄(慶應義塾大学小児科学教室)

LS17-1 小児てんかんの診断と診療連携

丸山慎介(鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科)

LS17-2 病態からせまる小児てんかんの治療戦略

九鬼一郎(大阪市立総合医療センター小児脳神経内科)

ランチョンセミナー 18 (共催：アレクシオンファーマ合同会社)

6月5日(日) 12:30~13:20 第3会場

原因不明の「てんかん」「歩容異常」「筋力低下」を見た際に鑑別すべき代謝性骨系統疾患

—ALP低値を見逃さない低ホスファターゼ症 HPP—

座長 松尾宗明(佐賀大学医学部小児科学講座)

LS18-1 小児神経科医が遭遇する可能性のあるHPP由来のビタミンB6依存性のてんかん

秋山倫之(岡山大学学術研究院医歯薬学域小児医学分野発達神経病態学領域)

LS18-2 全身痛と歩行困難をきたした小児型HPPの1例

鬼頭浩史(あいち小児保健医療総合センター整形外科)

ランチョンセミナー 19 (共催：中外製薬株式会社)

6月5日(日) 12:30~13:20 第4会場

座長 齋藤加代子(東京女子医科大学ゲノム診療科)

LS19 脊髄性筋萎縮症の治療の時代における新しい課題

小牧宏文(国立精神・神経医療研究センタートランスレーショナル・メディカルセンター)

イブニングセミナー (S204)

イブニングセミナー 1 (共催: 第一三共株式会社)

6月2日(木) 17:40~18:30 第1会場

座長 阿部裕一 (国立成育医療研究センター)

- ES1 バクロフェン髄注療法 (ITB 療法) を中心とした小児痙縮治療の実際
加藤美穂子 (あいち小児保健医療総合センター)

イブニングセミナー 2 (共催: リヴァノヴァ株式会社)

6月3日(金) 18:00~18:50 第3会場

薬剤抵抗性てんかん患者 (DRE 患者) に対する院外連携と VNS 療法の役割

座長 久保田英幹 (日本橋神経クリニック小児科)

- ES2-1 難治てんかんの脳神経外科医との連携の重要性について —クリニックの立場から—
森川建基 (医療法人森川クリニック小児科)
- ES2-2 薬剤抵抗性てんかん患者に対する院外連携からの学び —病院小児科の立場から—
池田ちづる (国立病院機構熊本再春医療センター小児科)
- ES2-3 てんかん診療連携 —VNS 植込み手術実施施設の立場から—
池谷直樹 (横浜市立大学大学院医学研究科脳神経外科)

イブニングセミナー 3 (共催: ノーベルファーマ株式会社)

6月3日(金) 18:00~18:50 第4会場

小児神経科医として知っておきたい亜鉛補充療法とシロリムス外用治療

座長 高橋孝雄 (慶應義塾大学小児科学教室)

- ES3-1 障害児と亜鉛
小沢 浩 (島田療育センターはちおうじ)
- ES3-2 知っておきたい結節性硬化症の皮膚病変治療の最新情報
吉田和恵 (国立研究開発法人国立成育医療研究センター)